コミスク設置準備委員会　事務局だより

平成２３年９月６日

経　　　過　　　報　　　告

６月３０日　　第１回設置準備委員会（公民館３号室　１５：００～）

７月２６日　　第２回設置準備委員会（公民館３号室　１５：００～）

　　２９日　　「地域とともにある学校づくり」推進協議会　　～札幌市

８月２４日　　第３回設置準備委員会（公民館視聴覚室　１５：００～）

　　２５日　　［コミスク通信＠三笠］ＮＯ．１発行

９月　６日　　「三笠小中一貫コミュニティ・スクール」制度説明会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（三笠中学校視聴覚室　１８：００～）

　　　　　　　［コミスク通信＠三笠］ＮＯ．２発行

設置準備委員会の様子から・・・・・

　　　　　　　　　準備委員会の委員が三笠市教育委員会より委嘱され、その後、前田

委員長より、「地域は学校に何を教えることができるのか、学校は地域から何を学ぶのか。三笠市に合ったコミュニティ・スクールを考えていきたい。」とあいさつがありました。また、推進にあたっての基本方針や研究・検討内容についても確認されました。

　　　　〈三笠小中一貫コミュニティ・スクール設置準備委員会委員名簿〉

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 所　　　　属　　　　　　 | 氏　　　名 | 備　　考 |
| 北海道教育大学札幌校准教授 | 前　田　賢　次　 | 委員長 |
| 三笠中学校長 | 　吉　永　　洋 | 事務局長 |
| 三笠小学校教頭 | 　柳　谷　直　明 |  |
| コミュニティ担当教諭（三小） | 　高　田　　徹 | ２－２０１０ |
| コミュニティ担当教諭（三中） | 　熊　谷　美　澄 |  |
| 三笠小学校ＰＴＡ会長 | 　湯　野　朝　臣 |  |
| 三笠中学校ＰＴＡ会長 | 　折　笠　弘　忠 |  |
| 三笠市地域子ども会育成連絡協議会会長 | 　安　藤　雄　一 |  |
| 三笠市文化協会会長 | 　小　林　英　夫 |  |
| 地域代表 | 　扇　谷　　円 |  |
| 教育研究所長 | 　寺　島　利　政 |  |

　※コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の関するお問い合わせは、三笠市

教育委員会又は三笠小学校コミュニティ担当（高田）まで・・・。

　　　　　　　　この会議では、「コミスク・学校・保護者・地域等の適切な役割と在り

方」について話し合われました。その中で、こんな質疑・応答（やりと

り）がありました。

〈質疑ア〉　学校運営協議会と学校評議員の関係は？　学校管理規則の

改正なども必要ではないか？

　　　　　　　〈応答ア〉　評議員の役割は、学校運営協議会が担うことになるのでは。

　　　　　　　　　　　　また、学校管理規則の改正については必要と考えている。

　　　　　　　〈質疑イ〉　地域が学校に入ってくるという点で教員の理解は？　閉鎖

的な体質はないか？

　　　　　　　〈応答イ〉　地域の理解なくして学校経営は不可能。岡・萱の実践を三

笠小中でも取り入れていきたい。

　また、学校運営協議会の設置にあたり、前田委員長よりこんな指摘もありました。

　　①目的と方向性を明確化し、学校運営協議会として共有する。

　　②地域の課題と展望を学校や子どもとともに模索するための議論を立ち上げる。

　　③地域連携から地域に根ざす、さらに地域をともにつくる。

　上記の３点に留意し、今後の議論を進めていくことを確認しました。

　　　　　　　　前回の議論を受け、「コミスク・学校・保護者・地域等の適切な役割と

在り方」について再提案し確認されました。また、「制度啓発の在り方」についても話し合われ、制度説明会やコミスク通信の内容などについても検討されました。

［コミスク・学校・保護者・地域等の適切な役割と在り方］

　〈コミスク〉

　　　ア　学校応援団として機能

　　　イ　地域に根ざした小中一貫教育に資する組織・運営

　　　ウ　情報発信の場（様々な情報を学校・地域・家庭に向けて）

　　　エ　学校・地域・家庭をつなぐパイプ役

　〈学　　校〉

　　　ア　子どもの学びの場

　　　イ　コミュニティが生成される場

　〈保護者・地域住民〉

　　　ア　「直接的・間接的な教育の当事者」という意識

　　　イ　自分の専門的・得意な知識や経験を生かした支援

　　　ウ　積極的なコミュニティの形成